



堆積盆及びテクトニックセッティング

- 前弧堆積盆堆積物
- 海溝陸側斜面堆積盆堆積物
- トラフ充填堆積物
- 付加体
- 海洋島弧の火山弧〜背弧海盆堆積物

微化石帯

- 放射虫化石
- 石灰質ナノ化石
- 珩藻化石
- 浮遊性有孔虫化石

放射年代(誤差を含む)

FT: フィッション・トラック年代
K-Ar: カリウム・アルゴン年代
U-Pb: ウラン-鉛年代

— 主なテフラ層

--- 主な不整合

四角の囲みは推定される各地層の推定堆積年代(破線は上限, 下限が不明なもの)

異質岩体

- ★1 石灰岩 N8-N9(横須賀市久村) (52)
- ★2 安山岩 K-Ar 23.4±0.8 Ma(葉山町上山口(旧字新沢) (53)
K-Ar 19.5±0.7 Ma, 19.8±0.6 Ma(同上) (8)
(年代値は古い方が若脈の可能性もあり)
- ★3 アルカリ玄武岩(枕状溶岩) 50~40 Ma(横須賀市平作) (54)
- ★4 ドレライト K-Ar 37.4±0.6 Ma(葉山町上山口 水源地橋) (55)
- ★5 アルカリ玄武岩 Ar-Ar 36Ma(横須賀市長坂堀越池) (55)
- ★6 超塩基性岩(蛇紋岩, 角閃石岩)の主な大規模ブロック
- 葉山層群中の本州からの供給源が推定される礫 (55)

FJ6 YDP-1 ポーリングコアの略称
小沢・江藤(2005), 近藤ほか(2014)佐藤ほか(2020)に基づく.

(1) 山崎(1993a)
(2) 菊地ほか(1991), 加藤・渡辺(1992)
(3) 服部ほか(1995)
(4) 蟹江ほか(1999)
(5) 蟹江ほか(1991b)
(6) 萬年ほか(2003)
(7) 柳沢ほか(2005)
(8) 今永・山下(1999)
(9) 倉沢ほか(1989)
(10) 佐藤ほか(2019)
(11) 小山(1986)
(12) Huchon and Kitazato(1984)
(13) 岡田(1987)
(14) 太田ほか(1986)
(15) 水上ほか(1991)

(16) 青池(1997)
(17) 青池(1999)
(18) 門田・末包(1978)
(19) 丹沢団体研究グループ(1973)
(20) Koyama and Kitazato(1989)
(21) Ito(1986)
(22) 石浜ほか(2012)
(23) 小田原ほか(2009)
(24) 矢野(1986)
(25) 茨木(1978)
(26) Yoshida et al.(1984)
(27) 小沢・堀内(2005)
(28) 鈴木(2017)
(29) 森慎一ほか(2015)
(30) 鈴木・蟹江(2012a)

(31) 小沢・江藤(2005)
(32) 鈴木・蟹江(2012b)
(33) 川上ほか(2005)
(34) 鈴木(2012)
(35) 岡田ほか(1991)
(36) 柴田ほか(2008)
(37) Yoshida et al.(1984)
(38) 蟹江ほか(1991a)
(39) 近藤ほか(2014)
(40) 江藤ほか(1987)
(41) 鈴木・蟹江(2010)
(42) 芳賀・鈴木(1999)
(43) 岡田(1995)
(44) 相田(1995)
(45) 竹谷(1995)

(46) 蟹江ほか(2015)
(47) Utsunomiya et al.(2017)
(48) 藤岡ほか(2003)
(49) 高橋ほか(2005)
(50) 楠ほか(2014), Kusu et al.(2016)
(51) 田村ほか(2010)
(52) 門田ほか(1988)
(53) 谷口ほか(1988)
(54) Kaneoka et al.(1981)
(55) 谷口・小川(1990)
(56) 小沢(2000)
(57) Imanaga(1999)
(58) 今永・杉山(1994)

文献

第3図 相模湾沿岸域の地層・岩体の分布と層序
Fig. 3 Summary of the stratigraphy in the coastal zone of Sagami Bay.

地質年代区分はGradstein et al.(2012)に, 海洋酸素同位体ステージはLisiecki and Raymo (2005)に基づく.
The geological time and marine oxygen isotope stage are taken from Gradstein et al. (2012), and Lisiecki and Raymo (2005), respectively.